

島本町教育委員会 会議録（令和7年第13回 定例会）

会議録確認委員	会議録記録者
丸野 亨	教育総務課 小林 貴衣
日 時	令和7年12月22日（月） 午前9時30分 ～ 午前9時58分
場 所	島本町役場4階 議会第3・第4会議室
出 席 者	横山寛教育長、高岡理恵教育委員、西尾一実教育委員、丸野亨教育委員、細見知子教育委員
委 員 及 び 事 務 局 職 員	（教育こども部）岡本泰三部長、安藤鎌吾次長、南田篤志次長 （教育総務課）三代剛課長、乾真琴参事、小林貴衣主査 （教育推進課）岡澤潤課長兼教育センター所長、吉田裕亮参事 （保育幼稚園課）三宅拓也課長 （生涯学習課）坂元貴行課長兼体育館長
欠 席 者	なし
委 員	
議 題	第7号報告 令和7年度公開授業・保育について 第8号報告 令和7年度中学生チャレンジテスト（中学校3年生の結果）について
議 決 事 項	なし
教 育 長 の 報 告 の 要 旨	別紙議事録のとおり
そ の 他	傍聴者なし

教育長

本日、出席者は5名です。定足数を満たしておりますので、令和7年第13回教育委員会定例会を開会いたします。

お諮りいたします。島本町教育委員会会議規則第17条第2項の規定に基づき、会議録確認委員は丸野教育委員に決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

御異議がないようでございますので、会議録確認委員は、丸野教育委員に決定いたしました。よろしく願いいたします。

お諮りします。

第8号報告につきましては、一部、学校別の結果を扱うこととなり、その際は、平成26年第4回教育委員会臨時会にて公表しないことと決定されたことから、今回も同様に公表しないこととすることから、島本町教育委員会会議規則第15条ただし書きの規定に基づき、第8号報告の学校別の結果について秘密会にすることとし、当該議事について最終の議事日程として説明し、お諮りすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

御異議がないようでございますので、第8号報告の学校別の結果については秘密会にすることとし、当該議事について最終の議事日程とすることに決しました。

それでは、第7号報告「令和7年度公開授業・保育について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

教育推進課長

それでは、第7号報告「令和7年度公開授業・保育について」、御報告いたします。

資料3ページ及び4ページを御覧ください。

今年度につきましては、10月31日(金)に第一幼稚園、11月1日(土)に第一小学校、11月7日(金)に第一中学校及び第二中学校、11月8日(土)に第二小学校及び第四小学校、11月22日(土)に第三小学校において、公開授業を実施いたしました。

参観に来られた人数につきましては、幼稚園は65名、小学校は4校合わせて2,756名、中学校は2校で合わせて494名でした。

当日は幼稚園・小学校・中学校ともに、たくさんの保護者が来られており、学校園での子どもたちの様子への関心の高さがうかがえます。

また、寄せられた意見等につきましては、小中学校では「子どもの家とは違う一面を見ることができ、学校での様子が分かりとてもよかった。先生の、授業中にも分かりやすく、子どもたちが質問しやすい環境だと感じた。」や「どの教科も授業内容が分かりやすいよう、上手くモニターを使っていると感じた。」「発言の機会を多く作るなど、児童が授業に積極的に参加出来るような工夫をしていると思った。」等、学校での子どもたちの様子や授業の中でのICT活用に肯定的な意見が多く見られました。

一方で、学校によっては、通常の授業以外に「引渡し訓練」「スマホ教室」等が実施され、それらに関する御意見も複数ございました。

幼稚園では、「子どもたちの笑顔を引き出す工夫がたくさん見れてとてもよかった。」や「運動会よりもより自然な子どもたちの様子を見ることができてよかった。」等、肯定的な回答が多く見られました。幼稚園、小中学校ともにおおむね肯定的な感想・意見が多くあり、それぞれの学校園の取組に対して、一定の評価をいただいていると認識しております。

授業等の公開内容・時間等につきましては、学校間で共有し、今後の公開授業の参考にするよう学校とも連携してまいります。

以上、大変簡単ではございますが、「令和7年度公開授業・保育」の報告を終わらせていただきます。

教育長

ただいまの報告について、御質問、御意見等ございませんか。

教育委員

私も見に行かせていただきましたけども、3時間続けては今年初めてでしょうか。それともその前から3時間あったのでしょうか。

教育推進課長

従前から続けて公開している学校が多いと認識しております。

教育委員

第三小学校の下の方に「授業3コマ分は長すぎるんじゃないか」というふうに書いてあって、私もちょっと見たところ、上の子の参観のときに下の子を連れてこられて、下の子が飽きてしまってグズグズ言い出してなかなか集中して見ることができない御家族の方がおられたかなというふうに思うので、その3時間の今までのやり方でいいのか、

先生方がどういうふうにおられるのかな、とちょっと聞きたいなと思いました。

教育推進課長

長いという御意見がある一方で、いつでも行けるので御家庭の御都合に合わせて行けるという意見もありました。学校では確かに長いことで保護者の授業を見ようという意識もちょっと時間が経つにつれて下がって、保護者間の私語が気になるという御意見もありましたので、この辺りについては学校と次年度の公開の時間について情報共有しながら、各校で検討するものではあるんですけども情報提供していきたいと思っております。

また教職員につきましては、確かに参観日ということで教員によっては緊張感を高く持って授業される方もいらっしゃるのですが、そこら辺りで負担といいますか、そういう緊張にさらされている時間が長いという実態は確かにあるかと思うんですけども、公立学校ですので、見せれない授業はないというところで認識しておりますので、その辺りは学校で十分に話をして、設定時間については検討していただきたいと思っております。以上です。

教育委員

公開授業は主催する方は大変な御苦労があるんだろうなと思って、大変でしたでしょうねというのが一つと、公開授業があるという毎回質問させてもらっているんですけど、参加者数に差があるので、これは学校規模の影響なのか、または他に要因があるのか、ということが一つと、それともう一つは保護者の方で見たい授業というリクエストというのは出ているのでしょうか。出ているとしたらそれに答えるというようなこともあるのか、ちょっとお聞きしたいと思えます。

教育推進課長

保護者の参加者数はやはり児童生徒数によってそれに比例してといえますか、変わっているものと認識しております。

授業内容につきましては、これも本当に保護者の方様々でして、普段どおりの授業を見たいという方もいらっしゃいますし、ここにもありましたように参加型、参観日ならではの授業でそこが参加できて嬉しかったというようなお声もございます。

またスマホ教室等で保護者の方も参考になったという意見もあれば、先ほど申し上げたとおりそういうのじゃなくて普段の授業を見たいん

です、というのもあるので、一長一短ありまして教職員もその辺りは学校でバランスを取りながら授業設定しているものと考えております。またそこにリクエストに応えるというところは把握しておりません。

教育委員

ここに寄せられた意見等ということでもかなりたくさん書いてくださってるんですけども、これは当日にアンケートの紙が置いてあってそこに記入していただくという形なのか、あるいは何かフォームのようなものがあって読み取って入力していただく形なのかということをお聞きしたいのと、ここにはこういう文章記述で書いていただいているんですけども、これに加えて例えば学校側から項目を設定して、先生の子どもに対する声掛けについて温かさを感じるのかとか、何かいろいろ項目、先生方が学校側が保護者の方に授業参観通して感じていただきたいことが感じていただけているのかどうかを測るような、そうやってくると紙で書いていただいて集約すると集約の作業自体がものすごく手間がかかるので、フォームのQRコードをあちこちに掲示していたら多分今の保護者さんでしたらスマホですぐできると思いますので、そんな形がもしできるんだったらこういったものが保護者さんの感想と、あるいはもしかしたらリクエストもそこに含まれるかもしれないけども、そういったものを対応していけるのかなと思いました。

教育推進課長

当日の御意見等の収集の仕方につきましては、各校2次元コードで集約しやすいような形で保護者の方の私物の端末によって入力をしていただいております。項目を立てた各学校からアンケートにつきましては、これとは別に学校教育自己診断という形でアンケートを取っておりますので、そちらで意見を収集しております。以上です。

教育長

ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようでございますので、報告内容のとおり承認するものといたします。

それでは、第8号報告「令和7年度中学生チャレンジテスト（中学校3年生の結果）について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

教育推進課参事

それでは、第8号報告、令和7年度中学生チャレンジテスト（中学

3年生)の結果につきまして、御説明いたします。

令和7年9月2日(火)、大阪府内の中学3年生を対象に、中学生チャレンジテストが実施されました。

7ページは、本町中学3年生の度数分布及び教科別結果概要となっており、8ページはアンケート結果の抜粋及び分析、また現在の中学3年生における1年次からの教科別及びアンケート結果の経年比較をグラフにまとめたものとなっております。

資料7ページを御覧ください。教科別の調査結果につきましては、5教科全てにおいて、大阪府の平均を上回る結果となっております。特に、理科で5.1ポイント、英語で6.3ポイント上回る良好な結果が出ております。

続いて、資料8ページを御覧ください。資料の3、同一集団における教科別の3か年の推移でございますように、中学1年次から3年次までの経年比較においても、対大阪府比を上回る結果となりました。同ページの2、アンケート結果(抜粋)につきましては、「(4)授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。」については、「ほぼ毎日」と「週3回以上」と回答した生徒の割合が、令和6年度同集団と比較して5.8ポイント向上しております。また、「(5)家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。」についても、肯定的回答が令和6年度同集団と比較して5ポイント向上しております。これらにつきましては、GIGAスクール連絡会や校長会等を通じ、単なる端末の使用のみならず、意見交流等を効果的に行うツールとしての活用を指導助言した結果であり、結果として端末等を活用し、教員の指示のみならず、生徒自身が課題意識を持って自学自習に取り組んでいると分析しております。

以上説明させていただきました資料7ページ、8ページは、地域・保護者への説明責任を果たすためホームページにて公開させていただく予定としております。また、令和8年1月14日に、中学1年生と2年生の大阪府チャレンジテストが実施される予定です。今後、大阪府から市町村別の調査結果が同様に公表される予定であります。

